

星の広場

〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



12月の観望天体

星は“すばる”！プレアデス星団

おうし座の肩のところには、「すばる」の名前で親しまれている星の集まり(散開星団)があります。平安時代に清少納言が枕草子の中で「星はすばる…」と美しい星の代表として詠んだことで有名です。「すばる」の意味は「統べる」(集まって一つになる)という言葉



からきているといわれています。欧米ではプレアデス星団と呼ばれています。目では6~7個の星が集まって見えます。双眼鏡や望遠鏡で観察すると、数十個の星が視野いっぱいに広がり、宝石のようにまたいたっているように見えてきます。明るい星の並びが車のメーカー「スバル」(富士重工業)のエンブレムマークになっているのがわかります。地球からの距離は約400光年、生まれてから数千万年の若い星の集まりです。ギリシャ神話では、若くて美しい7人のプレアデス姉妹が、暴れん坊のオリオンに追いかけて逃げていた姿です。今でも、オリオンはプレアデス姉妹を追いかけて昇ってきます。



12月の夜間観望会 日曜日 18:00~19:00

- ※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
- ※小中学生は保護者と一緒に来てください。
- ※天候や機器の整備等で中止する場合があります。
- スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
2日	Per.h-χ (エイチカイ・二重星団)、M45昴など hとχは、どちらも約300個の星のかたまり。ペルセウス座にあります。
9日	ミラ(くじら座)、天王星、すばる など ミラは約1年で3等星から10等星まで600倍も明るさが変わる不思議な星。
16日	アルマク、月、すばる など アルマクはアンドロメダ姫の足もと、オレンジとグリーンの美しい二重星。
23日	白鳥座、ベガ、アルタイル など クリスマスの日、日没後の西の空に白鳥座が十字架を作ります。
30日	第5週の日曜日のため開催しません。

12月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をHαフィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しよう。

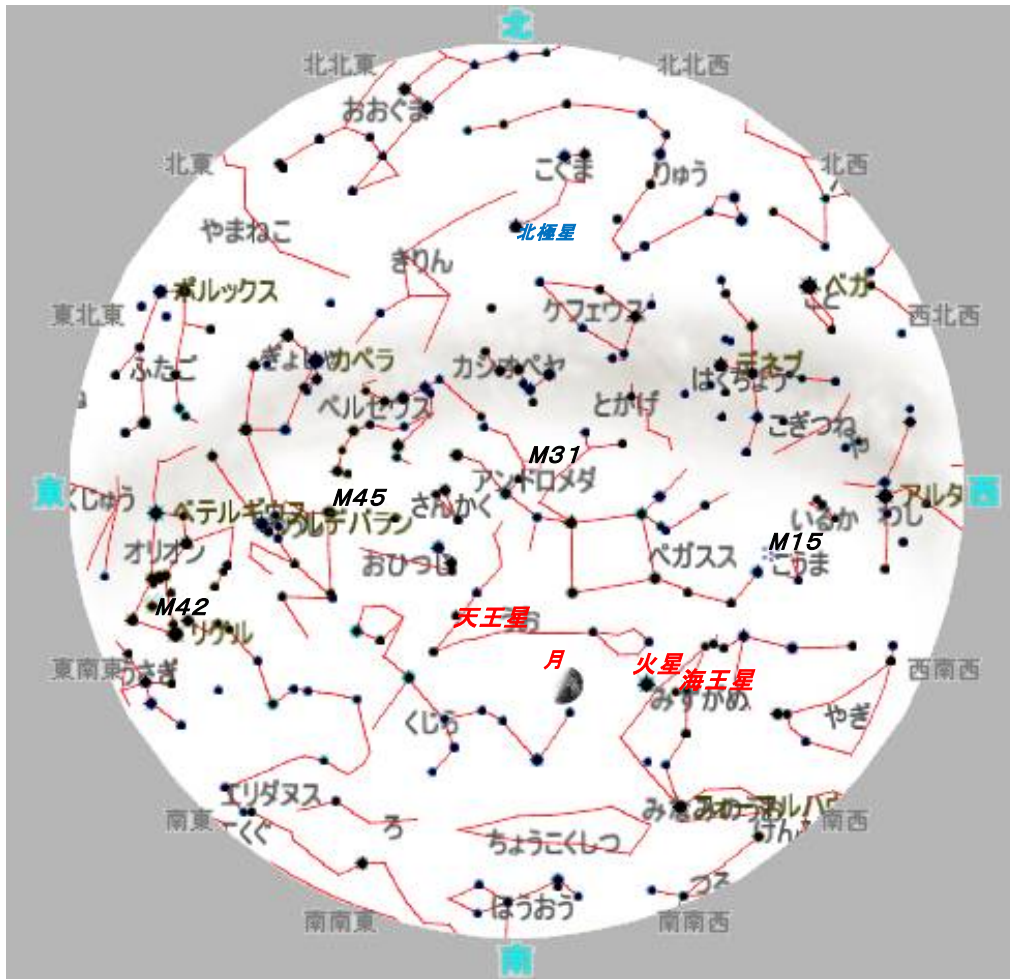
火・土・日曜日、祝日
29日~1月3日まで休み

10:00~12:00
13:00~15:00

1月6日(日)
部分日食観望会
午前9時~11時30分
＜40%ほど欠けた太陽を観察します＞

12月の星空

2018年12月16日 午後7時



12月の惑星

- 水星 明け方の東の空
- 金星 明け方の東の空
- 火星 宵の南西の空
- 木星 明け方の東の空
- 土星 夕方の西の空
- 天王星 宵の南の空
- 海王星 宵の南西の空

水星は15日に西方最大離角を迎え、しだいに高度を下げていきます。反対に11月26日に合となった木星はしだいに高度を上げ、明け方の東の空で見られるようになります。21日の明け方、この2つの惑星が接近します。

「明けの明星」の金星は、2日に最大光度となり、明け方東の空で目立ちます。

火星は10日に東矩となり、宵の南西の空に輝きます。

海王星と天王星が宵の空で見ごろを迎えています。望遠鏡で青緑色の丸い姿を観察しましょう。

日	曜	月齢	12月の主な天文現象
1	土	23.8	
2	日	24.8	金星が最大光度
3	月	25.8	
4	火	26.8	
5	水	27.8	
6	木	29.8	
7	金	0.2	(大雪) 新月
8	土	1.2	
9	日	2.2	海王星が東矩
10	月	3.2	火星が東矩
11	火	4.2	
12	水	5.2	くじら座ミラが極大
13	木	6.2	
14	金	7.2	ふたご座流星群が極大
15	土	8.2	上弦の月 水星が西方最大離角
16	日	9.2	46P/ウィルタネン彗星 地球に最接近



14日
ふたご座流星群
14日21時に極大になります。三大流星群の一つで、多くの流れ星が出現する流星群として知られています。月は夜半に沈みます。深夜には月明かりもなく好条件で観測できます。

日	曜	月齢	12月の主な天文現象
17	月	10.2	
18	火	11.2	
19	水	12.2	
20	木	13.2	
21	金	14.2	
22	土	15.2	(冬至)
23	日	16.2	(天皇誕生日) 満月 こぐま座流星群が極大
24	月	17.2	(振替休日)
25	火	18.2	
26	水	19.2	
27	木	20.2	
28	金	21.2	
29	土	22.2	下弦の月
30	日	23.2	
31	月	24.2	

23日
こぐま座流星群
23日午前6時ごろに極大になる予想です。ゆっくりとした明るい流星ですが、出現数は期待できません。

16日
46P/ウィルタネン彗星
地球に最接近
1948年に天文学者カール・ウィルタネンが発見した公転周期5.4年の周期彗星。16日に地球に最接近し、明るさは3.5等ぐらいになると予想されます。エリダヌス座からおうし座を通っていきます。